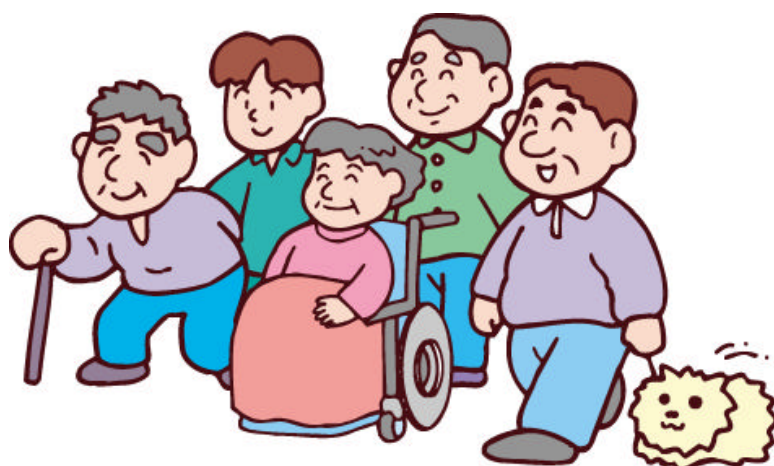


# 暮らしやすいと思う街のイメージを 中高生 100 人に聞きました！！



花水地区福祉コミュニティづくり らぶチーム

2002年6月

## は じ め に

2001年8月平塚市地域福祉計画策定のためのモデル事業として花水地区福祉コミュニティづくりは発足しました。公募で30名が集い3つのチームを作り

＊ 情報＊交流＊人・きっかけづくり

とそれぞれのテーマにそって活動しました。

私たちのチームは先ず人と人の関わりについて考え、きっかけづくりの呼びかけとして、住民の福祉に対する一部の意識調査を行う事としました。

人の集まる会場への訪問で聞き取り調査と、中高生に対話とアンケート形式で福祉に対する質問を依頼いたしました。私たちの意向をご理解戴きました、各学校長はじめ担当の先生と生徒の皆様にご心から御礼申し上げます。アンケートの結果は私たちの予想を越えた記述の回答でした。将来を担う学生諸君に向けた意識調査は年齢にふさわしい言葉として受け止め、貴重な資料となり、今後地域としての見直しや改革に役立つものと思います。

皆さんに素晴らしい感性を素直になげ掛けていただいた事を忘れません。ご協力ありがとうございました。

花水地区福祉コミュニティづくり  
らぶチーム  
代表 鈴木憲子

# アンケートのお願い

あなたは今何才ですか。  
まだ子供と思う時もあるし、そんなこと言わなくてももう子供じゃないよ、  
と思う時もあるはずです。  
大人になる途上で、社会がぐんぐん広がってきているはずです。  
小さい時から比べると、いろいろなつながりの友だちも増えてきているでしょう。  
家族の中であなたが大切な存在であるように、  
この社会のつながりの中でもなくてはならない存在なのです。

エレベーターで車椅子の人と出会ったら  
「何階ですか？」と声をかけてみましょう。  
指一本からあなたの気持ちが伝わります。  
“ どうもありがとう ”  
こんな体験はありませんか。

“ 障害があるということは不幸なことではない ”  
五体不満足で生まれた乙武さんは、お母さんの“ 可愛い ”という声の中で  
障害のあることを意識せずに成長しました。  
年をとっても、障害をもってもあたりまえの生活が出来ること。  
あたりまえの生活ってなんでしょう。

どんな状態になっても“ しあわせ ”と思える暮らしをしたい、  
そんな思いで私たちは活動しています。  
人と人との関わりについて、どうぞ、あなたの率直な思いを聞かせてください。

〔文章：柏木光江〕

# 住みやすい町づくり

## アンケートの集計

### 高浜高校 福祉教養コース

2002年2月25日

女性 31名 16才5名, 17才26名

男性 17才 5名

家でペットを飼っていますか。

飼っている 16人(犬8人, 猫3人, ハムスター1人, 熱帯魚4人)

飼っていない 24人

「住んでいる地区の広報」や「回覧板」を見ていますか。

自分が見ている 8人

家族が見ている 10人

あまり見ていない 14人



家族と「福祉」「ボランティア」について話したことがありますか。

ある 30人

ない 6人

家族のどなたかがボランティアをしていますか。

している 8人

いる。

青少年指導員

(美容師の母が)老人ホームで理髪のボランティアをして

学校(保育園など)のボランティア

福祉の仕事をしている。

老人ホーム、保育園、託児所など

していない 27人

あなたが福祉教養コースの活動に参加した動機はなんですか。

- ・ 中学生の頃、将来「介護士」になりたいと思っていた。
- ・ 将来、福祉系に行きたいから。

- ・ 祖母がディケアを受けていて、私もこんな仕事をやってみたいと思い、最短距離のこのコースを選んだ。
- ・ やって見たかったから。
- ・ 早く福祉について学びたいと思った。ボランティアにも参加したかった。
- ・ 福祉に興味があり、将来の職を考えるため。
- ・ 福祉に興味があり、普通科とは違うし、楽しそうだった。
- ・ 静かだと思ったから。
- ・ 手話をやりたかった。
- ・ 看護婦になりたかったから。
- ・ 人とふれあうのが好きで、誰かと誰かのふれあいをお手伝いしたいと思ったから。
- ・ 盲導犬の調教師になりたかったので、犬に教える前に自分が障害を持った方の気持ち等を学ぶ必要があると感じた。
- ・ 点字や手話をやって見たかった。
- ・ はっきりとした目的はなかったけど、将来福祉の仕事に就いて沢山の人の役に立てたらいいなと思った。
- ・ 普通科では体験できない事ができると思った。
- ・ 福祉関係の仕事に就きたいと思った。このコースに入れば何か見つかると思った。
- ・ 家から近く、海外ボランティアに興味があった。
- ・ 人とのふれあいが好きだから。
- ・ いろんな障害を持った人について知りたかった。
- ・ 勉強するなら身につく事をしたかったし、興味があったから。

あなたのコースの活動を教えてください。

- ・ 手話・点字の学習。
- ・ 施設訪問、実習。
- ・ 福祉に関する講義。講演会。
- ・ ボランティアに参加する。
- ・ 小さい子の知能発達を促進する手伝い。



活動の中で見つけたものは何ですか。

- ・ やさしさ。
- ・ 楽しさ。
- ・ ボランティアは一緒に楽しむことが大切。
- ・ 人とのふれあいの嬉しさ。
- ・ 沢山のひととふれあう楽しみ。
- ・ 友達の大切さ。助け合うことの大切さ。
- ・ 具体的には言えないけれど、やることやること一つひとつがすごくためになると思う。
- ・ 人と関わることの楽しさ。
- ・ 福祉は奥が深い。

- ・ 協力。
- ・ 色々な人とふれあって、分からなかった不自由な部分や場所、対応の仕方がわかった。
- ・ 手話とか点字を習ったことで、いろんな人と会話ができるようになった。
- ・ 色々な人たちの思いとか。
- ・ 心のふれあい。言葉がなくても気持ちは伝わる。
- ・ 大変さと、やりがいのある仕事。
- ・ 人は誰でもあたたかい心を持っている。
- ・ ボランティアはすごく簡単にできる事。
- ・ 私の思っていたよりも、現実はきびしい。



活動している中での悩みや困難は何ですか。

- ・ 障害者の方とのコミュニケーションが難しい。
- ・ 手話・点字がなかなか覚えられない。
- ・ 人にとけこむこと。
- ・ その時々ちがう。
- ・ 自分のしたい事、できる事、相手のして欲しい事等の違い。
- ・ 手話が難しい。まだ将来の目標が決まらない。
- ・ 少し消極的なところ。
- ・ どうしても壁を作ってしまう。
- ・ 何をしたいのか分からなくなった時。
- ・ お年寄りの人とか、障害の人にどう接して良いか悩んだ。
- ・ 施設訪問が遠い場所で困る。
- ・ 自分の思ったことを伝えるのが困難な人との関わりが多いから、自分も伝えるのが難しい。
- ・ どうしたら少しでも多くの人役に立つか。
- ・ 思ったよりも福祉に関することが少なく、あまりためにならないと思う。やるのならとことんやって欲しかった。今は福祉にしたことを後悔です。
- ・ 前より意欲が無くなっているような気がしてならない。
- ・ 外見をすごく気にしなきゃイケナイ事(?!)
- ・ つかれる。

「福祉」「ボランティア」の言葉のもつイメージは何ですか。

- ・ 無償の手助け。
- ・ 人にやさしい。
- ・ いいこと。
- ・ いい人。
- ・ 福祉 やさしさ。 ボランティア いきいき。
- ・ すべての人が平等に過ごせること。
- ・ 助け合い。



- ・ バリアフリー。
- ・ 積極的。協力。
- ・ 共に生きる。
- ・ 白。
- ・ まだ、奉仕活動とか昔のイメージが抜けてない感じ。イヤな感じ。点数稼ぎな気もする。
- ・ 楽しい。自分も助けてもらって、いろんな事を教わる。
- ・ ふれあい。交流。
- ・ 誰かのために何かすることで、結果的には自分にとって大切なものとなる。
- ・ 福祉 お年寄り。 ボランティア 楽しい。人助け。友達。

あなたが暮らしやすいと思う街のイメージを聞かせて下さい。

- ・ 犯罪が少ない。イカツイ人がいない町。
- ・ 障害者がみんな通れるような段差などがない街。
- ・ ユニバーサルデザインが行き届いた街。
- ・ マナー違反をする人がいない街。
- ・ 夜道等、安全な街。
- ・ 静かな街。
- ・ みんなが笑顔。
- ・ 心の通い合うような街。
- ・ バリアフリー、助け合い。お互いが相手を思いやる。
- ・ 障害がある人も無い人も暮らしやすい街。
- ・ 平和。
- ・ 施設がたくさんあり、一般の人が利用できる街。
- ・ 海の近く。
- ・ 福祉とかボランティアという言葉がなくなって全員が他人のことを考えて暮らしている世界。
- ・ 広い道とおまわりがない街。
- ・ すべての人が誰とでも親しく付き合っていける街。



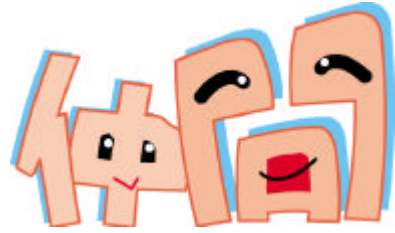
将来、福祉の勉強・活動を続けたい、又はやりたいと思いますか。

思う	2 1 人
思わない	3 人
わからない	1 2 人

仲間っていいなと思うのはどんな時ですか。

- ・ 失恋した時。悩みを真剣に聞いてくれる時。
- ・ 困っている時とか一緒にいてくれる。
- ・ 自分の出来ないことを手伝ってもらったとき。

- ・ くだらない事でも相談にのってくれる時。
- ・ いいことがあった時。
- ・ 一緒に笑える時。
- ・ 心身共に弱っている時など。
- ・ 一緒にバカやっている時。
- ・ 恋人がいないとき。さびしいとき。
- ・ 自分が辛い思いをしている時。
- ・ 話せる時。
- ・ 一緒にいなくても信じ合える時。
- ・ 辛い時に元気をくれる。そばにいと落ち着くし楽しい。
- ・ 悩んだりすると心配してくれる。
- ・ 楽しいとき、一緒にいる時。
- ・ 淋しい時に一緒にいてくれたり、一緒に泣いてくれる人。
- ・ 困っている時、励ましてくれる。
- ・ 仲間がいない時。
- ・ うれしいことも悲しい時も何でも分かち合えるとき。けんかしたりする時もある。
- ・ ささいな事でも一緒に笑い合えた時。



あなたが最近したことで「これもボランティアかな？」と思ったことは何ですか。

- ・ 募金（コンビニの募金箱へ）
- ・ ごみを拾った。
- ・ お年寄りに道を聞かれて、教えてあげたが分からない様なので一緒について行った。
- ・ 友達に休んだ日のノートを貸した。
- ・ ゴミをそのまま置いていった人のゴミをきちんとゴミ箱へ捨てた事。
- ・ ボランティアだとあまり意識しないから分からない。

高浜高校

福祉教養コースの

みなさん

ご協力いただき

ありがとうございました





# 住みやすい町づくり

## アンケートの集計

### 高浜高校 普通科コース

2002年2月25日

女性 16名 16才2名, 17才14名

男性 14名 16才2名, 17才12名

家でペットを飼っていますか。

飼っている 15人

(犬10人, 猫1人, ハムスター12,  
熱帯魚6人, 小鳥2人, かめ1人)

飼っていない 15人



「住んでいる地区の広報」や「回覧板」を見ていますか。

自分が見ている 4人

家族が見ている 12人

あまり見ていない 12人

家族と「福祉」「ボランティア」について話したことがありますか。

ある 11人

ない 19人

家族のどなたかがボランティアをしていますか。

している 1人

青少年指導員

(美容師の母が) 老人ホームで理髪のボランティアをしている  
学校(保育園など)のボランティア  
福祉の仕事をしている。

老人ホーム、保育園、託児所など

していない 28人

「福祉」「ボランティア」の言葉のもつイメージは何ですか。

- ・ 助け合い。
- ・ 安らぎ。
- ・ 介護など。
- ・ いい人。
- ・ 思いやり、やさしさ。
- ・ 人助けを自分から進んでやっている感じ。
- ・ 平和。
- ・ お年寄り、障害者の手助け。
- ・ すごいこと。なかなか出来そうにないって感じ。
- ・ とても良いこと。
- ・ 偽善者。少なからず見返りを期待しているから。
- ・



あなたが暮らしやすいと思う街のイメージを聞かせて下さい。

- ・ 譲る心、助ける心があふれる街。
- ・ みんなが助け合える。
- ・ ゴミが落ちていないキレイな街。
- ・ 自然に囲まれて、施設が整っている所。
- ・ 犯罪がない街。
- ・ ケンカのない街。
- ・ 健常者、障害者に関係なく誰もが通れる道路や、出入りできる施設がある街。
- ・ 身の不自由な人が何処でも安心して出かけられるように、みんな一人ひとり支え合っている。
- ・ バリアフリー。
- ・ 街のみんなが助け合える。
- ・ 平和な街。
- ・ 昔の感じ。今は家が密着しすぎている。
- ・ 大磯町。
- ・ 髪が染まらない。ファシズムな人が少ない街。
- ・ ほのぼの。
- ・ 体の不自由な人やお年寄りが住みたいと思う街。
- ・ 人情にあふれた街。

将来、福祉の勉強・活動が続けたい、又はやりたいと思いますか。

思う	9人
思わない	6人
わからない	13人

仲間っていいなと思うのはどんな時ですか。

- ・ 独りでいる時。
- ・ 一緒に笑える時。
- ・ 励まし合っているとき。
- ・ 困っている時に助け合えること。
- ・ つらい時も助けてくれる。
- ・ 何でも話せるとき。
- ・ へこんだ時。
- ・ 相談に乗ってくれる時。
- ・ 楽しい会話の時。
- ・ 一つの事を仲間ががんばった時。
- ・ 困ったとき、心配して一緒に悩んだりしてくれる。
- ・ 落ち込んでる時、いつも側にいてくれたり、気持ちを楽にしてくれた時。
- ・ 自分が地元に戻ったとき。
- ・ 一緒にいるだけで、心が通じる時。



あなたが最近したことで「これもボランティアかな？」と思ったことは何ですか。

- ・ 募金
- ・ 目の不自由な人がいたので、黄色の地面のところの自転車をどかした。
- ・ 子どもの落し物を拾ってあげた。
- ・ 席を譲った。
- ・ 人に親切にする事を心がけているけれど、本格的なボランティアはしてないなあ。
- ・ 道を教えた。
- ・ 店のドアを開けた。(おばあちゃんにお礼をいわれたから)
- ・ ゴミ拾い。
- ・ 車椅子の子がイスがじゃまで通れなかった時、イスをどけた。

高浜高校

普通科コースの

みなさん

ご協力いただき

ありがとうございました





## アンケートの集計

### 平塚学園高等学校

2002年1月24日

女性 6名

15才1名, 16才4名, 17才1名

家でペットを飼っていますか。

飼っている 2人(ハムスター1人, 金魚1人,)

飼っていない 4人

「住んでいる地区の広報」や「回覧板」を見ていますか。

自分が見ている 1人

家族が見ている 3人

あまり見ていない 2人

家族と「福祉」「ボランティア」について話したことがありますか。

ある 4人

ない 2人

家族のどなたかがボランティアをしていますか。

している 1人 妹の養護学校への手伝い

していない 5人

あなたがインターアクトの活動に参加した動機はなんですか。

- ・ 老人ホームへの訪問などでいろんな人とのかわりをもちたかった。
- ・ 老人ホームや募金活動がやりたかった。
- ・ 知り合いがいたから。
- ・ 少しでも誰かの役に立てたらいいな、と思ったから。
- ・ 自分の将来のため。今後の経験。.....
- ・ 野球応援はやっぱりメガホン2つだと思ったから。

あなたのインターアクトの活動を教えてください。

- ・ 学校行事の手伝い。
- ・ 老人ホームの訪問（月１回）
- ・ 海岸清掃。
- ・ 夏の野球部応援。
- ・ 月２回の例会。



活動の中で見つけたものは何ですか。

- ・ 人を思いやる心。
- ・ いろんな人とのコミュニケーションができる。
- ・ 人のやさしさ。人とのふれあい。
- ・ 自分がやることは本当に小さな事だけど、人が喜んでくれた時の嬉しさ。
- ・ 地域の人々のやさしい気持ち。
- ・ まだそんなに見つかるほどやってない。でも学校の手伝いは私も学校の一員（？）よくわかんないけどそんな感じです。

活動している中での悩みや困難は何ですか。

- ・ 老人ホームへ行った時、どうすればよいのか悩んだ。
- ・ 老人ホームへ行って、話がわからない時がある。
- ・ やっぱり遊びたい時もあるので活動に移るまでが少し辛い。
- ・ 勉強もガツガツやりたいと思っているので、両立はちょっと後々困難になると思う。

「福祉」「ボランティア」の言葉のもつイメージは何ですか。

- ・ 誰かのために何かをする。
- ・ 人の役に立つ仕事。
- ・ 人のため、自分が考えて行動するもの。
- ・ 人。心。
- ・ 福祉と言うのは、人を助けるという大きな仕事。  
ボランティアは小さな事から大きな事までいろんな仕事。

あなたが暮らしやすいと思う街のイメージを聞かせて下さい。

- ・ 大人から子どもまで街のみんなが仲良くてフレンドリーなところ。
- ・ 老人が暮らしやすいバリアフリーな街。体がわるい人でも気持ち良く暮らせる街。
- ・ 明るい雰囲気。自転車で走る時の段差がない等。
- ・ 人の迷惑を考えて行動。

将来、福祉の勉強・活動が続けたい、又はやりたいと思いますか。

思う 4人

思わない 2人

仲間っていいなと思うのはどんな時ですか。

- ・ 仲間の一つのすごい事を達成したとき。
- ・ 自分が悩んでいて苦しいとき助けてくれる。
- ・ 自分が楽しいとき、辛いとき一緒にいてくれる。
- ・ 自分が困っている時に助けてくれる。
- ・ 何も言わなくても心が通じたとき。
- ・ みんなで一つの事をやっている時。

あなたが最近したことで「これもボランティアかな？」と思ったことは何ですか。

- ・ 地域のゴミ拾いに参加したこと。
- ・ 目の見えない人が電車で困っていた時、声をかけて誘導してあげた。
- ・ 養護学校での手伝い。(食事をあげるなど。)
- ・ 老人ホーム、駅で目の不自由な人を助けたこと。

平塚学園高等学校 の  
みなさん  
ご協力いただき  
ありがとうございました





## アンケートの集計

### 平塚市立浜岳中学校

2002年1月10日

男性 8名 12才名, 13才名, 14才名  
女性 18名 13才名, 14才名

家でペットを飼っていますか。

飼っている 17人(犬6人, ハムスター4人, 金魚6人, かめ3人, うさぎ2人)  
飼っていない 9人

「広報ひらつか」や「回覧板」を見ていますか。

自分が見ている 6人(女子 6)  
家族がみている 18人  
あまり見ていない 3人(回ってこない 1)



家族と「福祉」「ボランティア」について話したことがありますか。

ある 9人  
ない 17人

家族のどなたかがボランティアをしていますか。

している 7人  
事に参加している。

自治会・町内会での行  
送迎ボランティア。(をしていた)  
ガールスカウトで募金活動など。  
羽根募金。(高校などで)  
不明。

していない 19人



あなたが委員会に参加した動機はなんですか。

1. 家族と「福祉」「ボランティア」について話したことがあると答えた人。
  - ・ はじめは「クラスの係りになるのがイヤだから。」でした。(以外と楽しい。)
  - ・ ボランティアに参加してみたかった。興味があつた。
  - ・ 自分にもできると思った。(ガールスカウトで募金活動をしている。)
  - ・ 将来、福祉関係の仕事につきたいと思っていた。
  - ・ 福祉はやらないよりやった方がいいに決まっています。
  - ・ インスタントシニアや老人ホームへ行ったりして、体の不自由な人の苦しい気持ちなどを分かってあげたかった。
  - ・ 福祉という言葉だけでひかれたから。
2. 家族と「福祉」「ボランティア」について話したことがないと答えた人  
& 家族の誰かがボランティアとしていると答えた人。
  - ・ 前に入った時、福祉活動をするのがとても楽しかったから。
  - ・ 人と人との交流を深めていきたい。(助け合いをしていきたい。)
  - ・ 人の役に立ってみたかった。
  - ・ 初めてのことに挑戦したかった。(老人ホームなどに行けるかも)
3. 家族と「福祉」「ボランティア」について話したことがないと答えた人。
  - ・ 前にやっていた人が楽しいと言っていたから。
  - ・ どういう事をしているのか気になったから。
  - ・ 羽根募金をしたかった。
  - ・ 人の役に立ってみたかった。
  - ・ 最初は内申書が目当てだったけど、テレビで障害のある人などを見て、そんな人たちの笑顔が見てみたくなった。(やっぱり入ってよかったと思う)
  - ・ おばあちゃんやユニセフ募金などが好きだから。
  - ・ 成績に関係があるから。

あなたの委員会の活動を教えてください。

- ・ 赤、緑の羽根募金
- ・ ベルマーク収集
- ・ 老人ホームへの訪問
- ・ 愛と友情の絵はがき
- ・ インスタントシニア体験



活動の中で見つけたものは何ですか。

- ・ 老人ホームなどでお年寄りと接して“楽しい”と思った。お年寄りからの“ありがとう”がうれしかった。



- ・ 町の人や学校の生徒のみんなのやさしい心づかい。
- ・ 募金は重要。(さまざまな募金があり、それだけ困っている人がいる。)
- ・ 以外と楽しいと思うようになった。
- ・ 私たちが活動すれば、多くの人に参加・協力をしてくれるという気持ちを感じた。
- ・ 私にも人のために役立つことができるんだなあ、という気持ち。
- ・ 募金や絵はがきなどを買ってもらって、うれしいと思ったり、感謝することが多くなった。
- ・ お金を集めるだけでなく、人として人を助けている。
- ・ 人の役にたつのは良いこと。
- ・ 福祉の活動は大変だと思った。
- ・ 一つの活動が終わった時、達成感がある。
- ・ このちょっとのお金が体の不自由な人や、貧しい人を助けられるんだと思う。

#### 活動している中での悩みや困難は何ですか。

- ・ まだ少しあまり協力的でない人がいる。
- ・ 活動を心よく思わない人がいる。
- ・ どれだけ声かけがあっても関心をもたず、募金にも参加してくれない人がまだいること。
- ・ 募金はちゃんと役にたっているのか。
- ・ 老人ホームへ行った時、おばあちゃんの話が聞きとりにくくて、困った。

\* 家族と「福祉」について話したことがない、家族の誰かがボランティアをしていない、と答えた人12人中11人は悩み・困難はないとの答え。

#### 「福祉」「ボランティア」の言葉のもつイメージは何ですか。

- ・ 親切。
- ・ 障害者やお年寄りに親切にしてあげること。
- ・ 人や自然に対してやさしい。
- ・ 人とふれあって、どんな人でも仲良くなれそうなイメージがある。
- ・ 保育園や老人ホーム、ろう学校など。
- ・ 自分の持っている力を困っている人のために、一生懸命使っている。
- ・ 福祉・・・お年寄りや町の人々との交流。
- ・ ボランティア・・・貧しい人々や他国の子供たちなどの手助け。
- ・ 自分から人のためにしてあげるやさしさ。



あなたが暮らしやすいと思う街のイメージを聞かせて下さい。

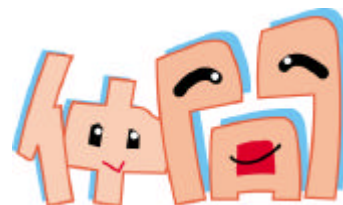
- ・ 困っている人を見かけたら、周りにいる人たちが進んでひと声かけてあげられるような街。
- ・ 車椅子やお年寄りのために、段差を無くすこと。
- ・ 人々が助け合って、協力していく街がいい。
- ・ みんながみんな自分勝手ではなくて、相手のことをよく考えて不自由のない街。
- ・ 普段、車を使用している人はもっと気を使うべきだと思う。
- ・ 子供からお年寄りなどが街に行っても苦労しない。
- ・ 近所に住んでいる人たちが仲が良いと、いろいろ協力してやる。(公園の掃除など)
- ・ みんなが決められたルールを守ること。
- ・ 夜真っ暗な道はいやです。
- ・ みんなが思いやりを持って、助け合いの多い街。
- ・ 障害がある人もみんなと同じように暮らせる、バリアフリーの街。
- ・ 色々な人との交流がある街。
- ・ 緑の多い街。ゴミやガスがない所。
- ・ 色々な店がある。

将来、福祉の勉強・活動が続けたい、又はやりたいと思いますか。

思う	19人(ある・ポ4人、ある6人、ない・ポ3人)
思わない	4人
わからない	3人(将来気が変わるかもしれないので、答えられません。1)

仲間っていいなと思うのはどんな時ですか。

- ・ (友だちがいると)さみしくない。相談できる。
- ・ 落ち込んでいる時にいっしょにいてくれる時。
- ・ うれしい時、つらい時など自分のことのように思ってくれる友だちがいること。
- ・ いっしょに遊んではしゃいだりしてる時とか、相談にのってくれる時。
- ・ 協力してくれたり、悩みを聞いてくれたり、いろいろな相談を聞いてくれること。
- ・ 助けられたとき。
- ・ いつでもそばにいるなー。
- ・ みんなで一つの事をいっしょにしてる時。(キライな人や苦手な人とも話したりできるから)
- ・ ひとりでいる時。
- ・ 自分が悲しい時、励ましてくれたりするトキ。
- ・ 学校で普通に話している時。
- ・ いっしょに何かしている時、いっしょにいる時。
- ・ 自分が失敗した時など励ましてくれた時。



- ・ なにか一つの目標に向かって協力している時。
- ・ 何も言わずに受け入れてくれた時。
- ・ いやな思いをしても、「だいじょうぶだよ。」と言ってくれた時。
- ・ 心配なときに友だちがいると安心できる。
- ・ 苦しいとき話を聞いてくれる時。
- ・ 物を忘れた時に貸し合えたりできる時。
- ・ ケガをした時に助け合える時。

あなたが最近したことで「これもボランティアかな？」と思ったことは何ですか。

- ・ ラスカの入り口のドアを開けてあげた。(おばあちゃんが困っていたから)
- ・ 買い物のおつりを盲導犬の募金に入れたこと。
- ・ 保育園に遊びに行っ、幼児の相手をしたこと。
- ・ 近所のおばあさんのごみ袋を収集所に持っていったこと。
- ・ 老人ホームへ訪問し、職員の人と同じような仕事を体験したこと。
- ・ (駅で)電車について聞かれたので、教えた。
- ・ おばあちゃんのお世話。
- ・ 風が強い日におばあちゃんが道路に飛ばされそうなときに助けたり、迷子の子供のお母さんをいっしょに探した。
- ・ 電車(バス)に乗ったとき、おじいさんに席を譲ったこと。
- ・ 募金箱にお金を入れた。
- ・ 近所に住んでいる人に挨拶をすること。されると気持ちがよくなる。
- ・ 海岸通り清掃(学校でのボランティア活動)
- ・ ごみ拾い。
- ・ 車椅子でコンビニのドアを開けにくそうにしてた人に、ドアを開けてあげた。
- ・ 公園の掃除。

*	家族と福祉について話したことがある。	ボランティアをしている。	4人
*	家族と福祉について話したことがある。	ボランティアをしていない。	6人
*	家族と福祉について話したことはない。	ボランティアをしている。	4人
*	家族と福祉について話したことはない。	ボランティアをしていない。	12人

平塚市立浜岳中学校 の  
みなさん  
ご協力いただき  
ありがとうございました



全部のアンケートを集計してみました

# 住み良い街づくり

あなたが暮らしやすいと思う街のイメージを聞かせて下さい。 回答者 39名

(1) たすけあい (32名)

みんなが笑顔 (女 17 才)

みんなの笑顔 (女 17 才)

譲る心、助ける心があふれる街 (女 16 才)

人情にあふれた街 (男 17 才)

みんなが助け合える (女 17 才)

心の通い合うような街 (女 17 才)

すべての人が誰とでも親しく付き合っていける街 (男 17 才)

平和な街 (男 17 才)

平和でみんなが仲よく暮らせる街 (女 17 才)

平和 (女 17 才)

平等 (女 17 才)

誰でも暮らしやすいと思う街 (女 17 才)

穏やかな街 (女 17 才)

平和な街 (女 17 才)

街のみんなが助け合える (女 16 才)

ほのぼの (17 才)

昔の感じ。今は家が密着しすぎている (女 17 才)

誰もが暮らしやすいと思う街 (女 17 才)

人の迷惑を考えて行動 (女 16 才)

大人から子どもまで街のみんなが仲良くってフレンドリーな所 (女 16 才)

マナー違反をする人がいない街 (女 17 才)

みんながみんな自分勝手ではなくて相手のことをよく考えて不自由のない街 (女 14 才)

近所に住んでいる人たちが仲が良いと、いろいろ協力してやる (公園の掃除など)

(女 14 才)

人々が助け合って、協力していく街がいい (女 13 才)

みんながちゃんとルールを守っている街 (女 13 才)

みんなが決められたルールを守る (女 14 才)

みんなが自分たちが決めたルールを守る (女 14 才)

みんなが思いやりを持って、助け合いの多い街 (男 13 才)

みんなが思いやりを持って、助け合っていく街（男 14 才）  
色々な人との交流がある街（街以外でも）（女 13 才）  
色々な人との交流がある街（男 12 才）  
身体の不自由な人に電車などで席を譲る（女 14 才）

## （２）安全 （２８名）

悪い人がいない（女 17 才）  
悪い人がいない街（女 17 才）  
犯罪が少ない。イカツイ人がいない町（女 16 才）  
犯罪がない街（男 17 才）  
ケンカのない街（男 17 才）  
髪が染まらない。ファシズムな人が少ない街（男 17 才）  
普段、車を使用している人はもっと気を使うべきだと思う（女 14 才）  
ユニバーサルデザインが行き届いた街（女 17 才）  
便利な所。ユニバーサルデザインが施してある所（女 17 才）  
交通が便利で、お年寄りなどにやさしく、不自由のない街（男 13 才）  
色々な店があると暮らしやすい（女 14 才）  
施設がたくさんあり、一般の人が利用できる街（女 17 才）  
夜道等、街灯が点いて安全な街（女 16 才）  
夜真っ暗な道はいやです（女 14 才）  
広い道とおまわりがない街（女 16 才）  
静かな街（女 17 才）  
静かな所（男 17 才）  
海の近く（男 17 才）  
ゴミが落ちていないキレイな街（男 16 才）  
ゴミが少なくて道が広い街（女 17 才）  
ゴミが少なく、木が多い（男 13 才）  
ゴミやガスがない所（女 13 才）  
キレイな街（女 17 才）  
過ごしやすい（男 17 才）  
自然に囲まれて、施設が整っている所（男 17 才）  
緑の多い街（男 13 才）  
健常者、障害者に関係なく誰もが通れる道路や、出入りできる施設がある街（女 17 才）  
大磯町（男 17 才）



## ３．バリアフリー ２３名

### （１）（ハード） （１０名）

障害者がみんな通れるような段差などが無い街（女 17 才）  
段差などが無い街（女 17 才）  
車椅子やお年寄りのために、段差を無くすこと（女 13 才）

段差がなく信号や細い道等安全で車いすの人や視覚障害の人も安全に歩ける街(女 17 才)  
 バリアフリーと助け合い(女 17 才)  
 バリアフリーが行き届いていてみんなが困難なくすごせる街(男 17 才)  
 バリアフリー。お互いが相手を思いやる(女 17 才)  
 バリアフリーな街(女 17 才)  
 障害がある人もみんなと同じように暮らせるバリアフリーの街(女 14 才)  
 バリアフリー(女 16 才)

## (2) バリアフリー(ソフト) (13名)

障害がある人も無い人も暮らしやすい街(女 17 才)  
 福祉とかボランティアという言葉がなくなって全員が 他人のことを考えて暮らしている世界(女 16 才)  
 身体の不自由な人が何処でも安心して出かけられるように、みんな一人ひとり支え合っている(女 17 才)  
 体の不自由な人やお年寄りが住みたいと思う街(女 17 才)  
 老人が暮らしやすいバリアフリーな街。体がわるい人でも気持ち良く暮らせる街。(女 15 才)  
 明るい雰囲気。自転車で走る時の段差がない等(女 16 才)  
 障害のある人だけでなく困っている人がいたら、みんなで助けあえる街(女 14 才)  
 困っている人を見かけたら、周りにいる人たちが進んでひと声かけてあげられるような街(女 13 才)  
 車椅子の人でも楽に道路を歩いてお年寄りにやさしい街(女 13 才)  
 子供からお年寄りなどが街に行っても苦労しない(女 13 才)  
 お年寄りと仲良くできる街(女 13 才)  
 身体の不自由な人にみんなと同じように暮らせる街(男 12 才)  
 車椅子専用のエレベーターがあったら(女 13 才)

## 4. その他 4

よく解らない (女 17 才)  
 よく解らない (女 17 才)  
 解らない (女 16 才)  
 解らない (14 才)



## 5. 無回答 13

## 6. 更にまた次の事を教えて戴きました。

### (1) お家でペットを飼っていらっしゃいますか？

飼っている 37 (犬14、ハムスター7、金魚4、熱帯魚4、猫3、亀3、兎2)  
 飼っていない 63

( 2 ) 地区の「広報」「回覧板」を見ていらっしゃるでしょうか？

自分が見ている 1 6

家族が見ている 3 4

誰も見ていない 5 0

( 3 ) 家族と「福祉」「ボランティア」について話したことがありますか？

話した事がある 4 7

話した事がない 5 3

( 4 ) 家族のどなたかがボランティアをなさっているでしょうか？

している 1 9

していない 8 1

( 5 ) 将来、福祉の勉強・活動が続けたい、或はやりたいと思われませんか？

思う 4 8

思わない 1 1

分らない 4 1

ありがとうございました！

# 感謝の気持ちを込めて編集後記

♡ ♡ ♡ ~ やってみてよかった! ~ ♡ ♡ ♡

“ 記述式にして正解でした!! ”

みんな とてもまじめに自分の“ 今の考え ” を正直にかいてくれて、嬉しかったです。内容も私たちが予想していたよりずっとしっかりとした意識が伝わってきて、メンバー一同驚いたり、喜んだり、感動しました。

2001年1月1日の統計では神奈川県の高齢人口（65歳以上）が年少人口（0～14歳）を上回りました。2002年3月現在で県民の平均年齢が40歳代に突入したそうです。

人は誰でも年をとっていきます。住み慣れたところで、自分らしく年を重ね、自分らしく暮らし続けたい・・・

それには安心して暮らせる社会、街づくりが大切なことは言うまでもありません。助けられたり助けたりしながら。まちはみんなで作っていくもの・・・。

「1人の十歩」より「十人の一歩」ですね。

金子公子

一人一人のアンケートの解答を読ませていただいて感じましたこと、気づかされたことがたくさんありました。

「福祉」や「ボランティア」に対するしっかりとした考えを持ち活動されていること、とても頼もしく思っています。

又、悩み、戸惑いながらもボランティアをすることが「特別なこと」ではなく「普通のこと」として捉えていることに驚きを感じました。

皆さんとは身近な場面で繋がりを持ち何か一緒にできることがあればと願っています。これからも気負わずに「できることを・何時でも・何処でも」ヤングパワーを発揮してたくさんの方のことを学んで下さい。

花原恵子



辞書を引くと「福祉」とは、しあわせ・幸福と解いてあります。

ひとさま  
人様のしあわせを考え、力を貸すことはたいへん勇気のいることと思っておりました。

しかし、今回のアンケート調査の解答を拝読させていただきおどろきました。

まだ、10代という若い方達が福祉に関心を持ち、実践されていることを！

そして、色々なことを感じ得ていただけることも。

命のあることはすばらしいことです。ですが、生き続けるということは、たいへんなことです。これからの福祉行政の充実も大事ですが、世代関係なく、人と人が助けたり助けられたりしながら少しでも多くのしあわせを感じて毎日を生きていけたらと願います。

どうぞ、たくさんのかことを学んで下さい。

私もできることから実践です。

袖ヶ浜 木村道子

中・高校生を対象にアンケート調査をさせて頂いた結果、とても素直で前向きな回答だった事をととても嬉しく思った。

福祉・ボランティアなどの言葉にとらわれず人間本来の持つやさしさや思いやりの気持ちを難しく考えずその時々気がついたら行動に移してみる。

相手の喜びが自分の喜びになる様に。

この地域で若い多くの担い手が育って欲しいと願います。

大木博子

皆さんが、「仲間っていいな」と思われる、その心の中に「福祉コミュニティー」の基本があるのだなと思いました。

障害者はいつも障害者として生きているわけではありません。健康な部分もたくさん持っています。高齢者も年中高齢者として扱われたら憤慨される方もあるでしょう。そういう枠組みにとらわれずに、同じように喜び、悩み、励まし合う人 対 ひと として関わっていかう、そんな大事なことをみなさんから教えていただきました。

(ワークショップ八重咲) 丸井 みどり

武藤 仁美

私が高齢になる頃、アンケートに答えていただいた中高生たちが次世代を担い、あらゆる場面で活躍して行くことでしょう。アンケートを読みながら中高生を頼もしく思い、そして安心しました。

少子化高齢化がくることは30年以上も前から解っていて「しあわせな福祉」をつくることが課題でした。「元気で健康な人々中心の社会」から「高齢者・障害者が住み良ければ元気な人はもっと住み良い社会」であることをみなが気づきはじめた今、福祉の軌道修正中と言うところでしょうか。次世代に引き継ぐために私たち団塊世代の中高年ができるだけのことをして行きたいとあらためて思いました。

大見京子

「暮らしやすいと思う街のイメージを  
中高生１００人に聞きました！！」  
２００２年７月発行  
花水地区福祉コミュニティづくり  
【らぶチーム】  
グループメンバー  
大木博子・大見京子・柏木光江・金子公子  
木村道子・鈴木憲子・花原恵子  
丸井みどり・武藤ひとみ・高橋慎一郎  
三杉力男  
【印刷】  
特定非営利活動法人ひなたぼっこ  
〒254-0815 平塚市桃浜町 2-32  
TEL 0463-33-2511・FAX 0463-33-2521

